

遠隔地支援による津波防災マップ作成 ～逗子市新宿地区の事例～

GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会 支援グループ（代表）松村一保

キーワード

地区防災計画、遠隔地支援、地理院タイル、OSS、WebGIS

クラウド環境で地区防災計画※のための防災マップづくりを支援します。

日々進化する最新の各種防災情報やオープンデータを、身近な地域で利用できる環境を提供する参加型 GIS のクラウドプラットフォームです。地域自治会や行政との共同などによる地域の特性に合わせた「防災マップづくり」を支援します。

【機能】

背景図 : 地理院タイル、OSM など
重ね合せ : 指定緊急避難場所、ハザード情報など
追記 : 地区の特性に合わせて、
 避難経路、標高値
 危険なブロック塀、石垣
 津波避難後に必要な施設
 地区独自に指定された避難建物など
 情報追加が可能です。

【期待される効果】

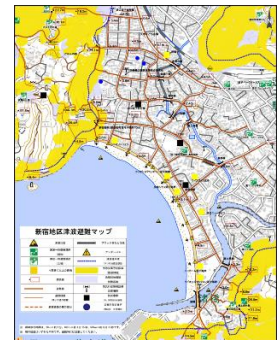
- ・印刷物の作成費用を低減できます。
- ・システムの構築費用が不要となります。
- ・遠隔支援が可能なので、自治体職員は、地域コミュニティの支援に注力できます。
- ・現場に参加できない方にも、インターネットで登録中の情報を見てもらえます。
- ・WebGIS による情報共有や検証結果のデータ修正が容易で、参加者相互のコミュニケーションを支援します。



支援システム



まち歩き



防災マップ

提供：逗子市 防災安全課

【今後の取組み】

- ・地域自治会・町内会による防災マップづくりを支援します。
- ・津波以外の、地震・水害・土砂災害の防災マップづくりを検討している方の利用や提案を歓迎します。
- ・最新の防災情報やオープンデータを活用した、地域や学校での防災教育への活用を支援します。

【関連システム】

<https://www.gisnet.jp/portal/> を参照してください。

※ 地区防災計画とは

市町村の一定の地区の居住者及び事業者が主体となり、地区の特性や過去の災害を踏まえた計画を作成し、計画に基づく継続的な防災活動の実践を通して、地域全体の防災力の向上を目指すもの。